

教 科		保健体育		科 目	保 健	単位数	1
学 年		2 年		類 型	流通経済科・情報ビジネス科・地域ビジネス科・商業科		
教科書（出版社）		現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）					
副教材（出版社）		現代高等保健体育ノート 改訂版（大修館書店）					
授業の概要		思春期から中高年期までの健康に関わる事柄について学ぶとともに、私たちの健康を支えている保健・医療のしくみや、それらの活用の仕方について学びます。また、健康に関連する環境・食品の問題や、働くことと健康の関係などを中心に授業を展開します。					
授業の目標		1 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践できるような意欲を育てます。 2 心身の健康や安全に関する問題解決を目指し、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断できる力を身に付けます。					
年 間   学 習  計 画		学習内容（単元・項目）			学 習 目 標		
	1  学 期	2 生涯を通じる健康 （1）思春期と健康 （2）性意識と性行動の選択 （3）結婚生活と健康 （4）妊娠・出産と健康 （5）家族生活と人工妊娠中絶 （6）加齢と健康 （7）高齢者のための社会的取組			・私たちの心と体は、年齢とともに変化していき、また、健康のために私たちや社会がすべきことも、それにともなって変化することを理解します。  ・生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があることを理解します。		
	2  学 期	（8）保健制度とその活用 （9）医療制度とその活用 （10）医薬品と健康 （11）さまざまな保健活動や対策  3 社会生活と健康 （1）大気汚染と健康 （2）水質汚濁・土壌汚染と健康 （3）健康被害の防止と環境対策 （4）環境衛生活動のしくみと働き			・生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることを理解します。  ・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあることや、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解します。		
	3  学 期	（5）食品衛生活動のしくみと働き （6）食品と環境の保健と私たち （7）働くことと健康 （8）労働災害と健康 （9）健康的な職業生活			・食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解します。 ・労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解します。		
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度		思考・判断		運動の技能		知識・理解
	健康の保持増進について関心を持っているか。仲間と協力して資料を集め、意見交換をしている。		自分のこれまでの学習や体験、資料などを基にしたり、他人の意見や考えを聞いたりして、課題の設定や解決の方法を考え、判断している。				適切な生活行動を選択し実践すること必要であることを理解し、問題解決に役立つ知識を身に付けている。
備考	3つの観点に基づき、学期ごとに 100 点法で評価し、学年末には、各学期の評価を平均し、総合的に評価する。						